

センシングデバイス事業部

センシングデバイス事業部について

当事業部は、ミネベアミツミ株式会社の計測機器部門として、ひずみゲージ、及びその応用トランスデューサー（変換器）類、ならびに各種専用計測・計装機器を擁し、優れた技術と品質で各種産業の計測・計装のニーズにお応えしております。

当社のひずみゲージ、及びトランスデューサーの技術はひずみゲージのパイオニアである米国BLH社の技術を源流として今日に至りましたが、既にその域を脱し、独自の技術開発力と生産体制により、国内はもとより世界でも高い評価と実績を持つ段階に至りました。

ひずみゲージの応用分野は広く、直接ひずみ測定に使用されるばかりではなく、そのトランスデューサー類は荷重・圧力・トルク等のあらゆる産業の計測ニーズに対して、豊富な種類と卓越した品質でお応えしております。又、タイ/中国工場を含めた抜群の生産力を以って、国際競争の厳しい昨今、ユーザ各位がご満足いただける体制を整えて参りました。

更にセンサー／トランスデューサー類に加えてその精度をより確かな物としてご活用いただくために、各種専用増幅器・指示計及び引張圧縮試験機を用意し、計測・計装のあらゆる分野に総合技術の専門メーカーとして大きな役割を担っております。



センシングデバイス事業部の沿革

1941年	逗子市逗子1103番地に合資会社新興通信機製作所を設立。
1950年	合資会社を株式会社に改組し、新興通信工業株式会社を設立。 ひずみゲージの生産開始。
1975年	米国BLH社と技術提携。
1976年	シンガポール/KALAN工場操業開始。
1977年	主な生産機能、及び本社を神奈川県逗子市より長野県北佐久郡御代田町大字御代田4106番地73に移転。
1981年	新興通信工業株式会社、他4社を吸収合併し、社名をミネベア株式会社新興通信事業部と変更。
1985年	タイ/アユタヤ (Ayutthaya) 工場操業開始。
1988年	新興通信事業部を計測機器事業部と改称。
1991年	米国圧力伝送器の有力メーカー、センサトロン社と技術提携を行う。
1996年	ISO9001認証取得 (藤沢/軽井沢工場)。
1997年	ISO9002認証取得 (タイ工場)、ミネベア全工場 ISO14001認証取得。
2000年	K、Jゲージ (零点低変化ゲージ) の製品化。
2000年	キーボード、体脂肪計用センサーなどの量産製品を中心として総合計測機器メーカーとして展開。
2001年	シンガポール工場閉鎖、中国・上海/西岑工場操業開始。
2002年	自動車用センサ量産開始。
2003年	自動車用センサを増産の為、タイ工場をアユタヤ工場 (1,702 m ²) からロップリ工場 (4,418m ²) に移転。
2005年	光学式6軸力センサー販売開始。
2006年	ポインティング・スティック・アッシー (PSA) 生産開始。
2007年	家庭ゲーム機用センサー生産開始。
2008年	軽井沢工場技術部を藤沢工場に移転し、技術部を統合。
2012年	上海工場 ISO9001 認証取得。
2015年	ドイツのSartorius Mechatronics T&H GmbHとその子会社を買収。 カンボジア工場操業開始。
2016年	「計測機器事業部」の名称を「センシングデバイス事業部」に変更しました。